

# 高田川新聞

2019年 2月25日

発行所

高田川部屋後援会事務局

〒135-0024

東京都江東区清澄2-15-7

www.takadagawa.com

## 大相撲 三月場所

平成31年 3月10日より

15日間

於 エディオンアリーナ大阪

(大阪府立体育会館)

高田川部屋

三月場所 大阪道場

東大阪市御厨栄町1-4-4

TTSセンター

# 幕内狙う白鷹山



## 白鷹山 最高位更新

平成三十一年の初場所、横綱・稀勢の里が初日から三連敗し、引退となった。逆に初日から十連勝と盤石の境に連敗を喫し、まさかの休場。序盤に二敗していた関脇の玉鷲がその後を十連勝とし、初優勝を決めた。高田川部屋では、幕内の二関取が序盤から大きく連敗し、苦しい星取りを強いられる中、十兩の白鷹山だけがコツコツと白星を重ね、八勝と辛勝ながらも四場所連続の勝ち越しで最高位を続けて更新して、ついに幕内に手が届く地位まで番付を上げた。

## 竜電 節目の一年

昨年の五月に新十兩に上がったから次の春場所まで、うご一年。一度は、大きく負け越し跳ね返されたものの、名古屋場所では幕下筆頭から全勝優勝で再十兩を二場所決めて、そこから



## 長谷川

今年も初場所から新弟子が入門した。間もなく高校を卒業する長谷川輝(はせがわひかる)。中学、高校時代は柔道部だったが、小学生の時に町のちびっこ相撲大会に出たり、選抜されて中2の時に相撲の県大会に出場。本格的に相撲をするのはこれからのだが、前相撲で3勝し、自分の名前と同じ字の輝の化粧まわしをつけて新序出世披露に臨んだ。これから恵まれた体格を活かして関取を目指す。元力士の叔父に勧められ、入門しました。強くなって、なおかつ人に愛される力士になりたいです。応援よろしくお願いします。



本名:長谷川 輝	身長:177cm	体重:161kg
平成12年5月18日生まれ 千葉県鴨川市出身		

二月十一日、式守伊之助襲名披露祝賀会が行われ、一門の親方衆、関取衆をはじめ、後援会の皆様、関係者の皆様に多数ご列席賜りまして盛会となりました。

立行司 式守伊之助の目  
輝が中日まで一勝七敗と負けこんだ。後がない。その夜、ちゃんこ場で師匠から「残りの七日間、五勝二敗でいかなと十兩に落ちるぞ」と言われ、そこから言葉どおりの五勝二敗で何と幕内の座を死守した。本人は大変な状況であったが、相撲内容は、中盤まで四勝一敗と好成績だったが、内容は引き技主体の、たが、内容は引き技主体の、癖になり、出世できず辞めていた力士をたくさん見てきたと、厳しい師匠の言葉で引き技症候群が治り、五勝目、六勝目は目の覚める優等生相撲となった。

昨年末の十二月二十九日、その年の新入幕力士の中から年間を通じて最も活躍した力士に贈られる第五十五回大相撲幕内最優秀新人賞に竜電が選出された。二十八歳のオールドルーキー。大怪我で関取から序ノ口にまで落ち、そこからの努力で幕内上位まで這い上がったことも評価されたと聞く。

輝は立ち合いの激しさから初日、二日目と対戦相手の威力は十分。しかし、叩かれたり、土俵際の逆転負けで中日まで一勝七敗。関

取になってからの二十六場所一番悪い前半戦の戦績。番付は前頭十二枚目。このままでは十兩に陥落する。後半の七番を最低でも五勝二敗でいかなければならぬ。後半戦、頭を下げ過ぎずに落ちていく相撲を取り出すと、自ずと白星が増えていった。千秋楽、分の悪い山から必死の相撲で六勝目をもち取り、幕内の地位を守った。この日の優勝パレードでは、同門で付け人もした優勝力士・玉鷲の旗手も務めさせてもらった。普段はあまり表情を変えない輝だが、沿道の声援に笑顔で応えていた。同じ景色を今度は優勝して観る。そう強く心に誓って、輝は春場所の土俵に上がる。

この二年で新弟子が六名が入門。育ってきた若手に刺激を受けながらベテラン勢も頑張っている。部屋全員が春の息吹とともに一気に開花することを願う。

十兩でも三場所続けて勝ち越し、とうとう番付は十兩上位。春場所でも勝ち越しすれば幕内の可能性が出てくる。幕内の兄弟子たちは、十兩は共に七場所通過。二桁以上、最低でも九勝すれば幕内昇進をぐっと引き寄せられる。ここ二場所のようには最低限の勝ち越しではなく、竜電、輝の実績を抜く、一年六場所での十兩通過で幕内昇進を決めてほしい。

輝は立ち合いの激しさから初日、二日目と対戦相手の威力は十分。しかし、叩かれたり、土俵際の逆転負けで中日まで一勝七敗。関

取になってからの二十六場所一番悪い前半戦の戦績。番付は前頭十二枚目。このままでは十兩に陥落する。後半の七番を最低でも五勝二敗でいかなければならぬ。後半戦、頭を下げ過ぎずに落ちていく相撲を取り出すと、自ずと白星が増えていった。千秋楽、分の悪い山から必死の相撲で六勝目をもち取り、幕内の地位を守った。この日の優勝パレードでは、同門で付け人もした優勝力士・玉鷲の旗手も務めさせてもらった。普段はあまり表情を変えない輝だが、沿道の声援に笑顔で応えていた。同じ景色を今度は優勝して観る。そう強く心に誓って、輝は春場所の土俵に上がる。

この二年で新弟子が六名が入門。育ってきた若手に刺激を受けながらベテラン勢も頑張っている。部屋全員が春の息吹とともに一気に開花することを願う。

大野城は昨年の五月場所二度目の幕下。しかし、ようやく戻ったその場所ですでに骨折して途中休場。続く名古屋場所も休場して番付を三段目下位まで下げた。しかし、ここからは三場所連続勝ち越しで幕下復帰を決めた。初めて幕下へ上がったから三年半。同期の白鷹山は関取となった。一歩でも二歩でもその背中に近づきたい。三度目の挑戦。幕下で初の勝ち越しを決め、今年には幕下定着から大きな目標に挑んでほしい。

湘南乃海も同じく三場所連続勝ち越し。しかも六勝。春場所では幕下十五枚目以内で番付を戻す。期待されるが幕下で足踏みを続けていた男が、そろそろ體を活かし、前に攻め続ける相撲で四人目の関取となしてほしい。

この二年で新弟子が六名が入門。育ってきた若手に刺激を受けながらベテラン勢も頑張っている。部屋全員が春の息吹とともに一気に開花することを願う。

この二年で新弟子が六名が入門。育ってきた若手に刺激を受けながらベテラン勢も頑張っている。部屋全員が春の息吹とともに一気に開花することを願う。

約四年の辛抱の時期が竜電に経験と実力を与え、着実に登ってきた。幕内は大相撲の最高峰。高い山ほど最後の最後がどんな険しく難しくなっていく。初場所では、ちょっとした引いて中に入られれば、あつという間に勝負がついて負けが先行してしまつたが、逆に立ち合いからスピードに乗り、中に入れば、強い相手にも粘り勝ちすることができると竜電の強み。六月には人生の伴侶も得る。今年には幕内上位、そして三役挑戦へと、大きな節目の年になるだろう。

大野城は昨年の五月場所二度目の幕下。しかし、ようやく戻ったその場所ですでに骨折して途中休場。続く名古屋場所も休場して番付を三段目下位まで下げた。しかし、ここからは三場所連続勝ち越しで幕下復帰を決めた。初めて幕下へ上がったから三年半。同期の白鷹山は関取となった。一歩でも二歩でもその背中に近づきたい。三度目の挑戦。幕下で初の勝ち越しを決め、今年には幕下定着から大きな目標に挑んでほしい。

湘南乃海も同じく三場所連続勝ち越し。しかも六勝。春場所では幕下十五枚目以内で番付を戻す。期待されるが幕下で足踏みを続けていた男が、そろそろ體を活かし、前に攻め続ける相撲で四人目の関取となしてほしい。

この二年で新弟子が六名が入門。育ってきた若手に刺激を受けながらベテラン勢も頑張っている。部屋全員が春の息吹とともに一気に開花することを願う。

幕内	十兩	幕下	三役目	二役目	一役目	序ノ口	新加入
竜電	白鷹山	湘南乃海	大野城	大雷童	恵比寿丸	大乗	前乃富士
6勝9敗	6勝9敗	6勝1敗	4勝3敗	3勝4敗	5勝2敗	2勝5敗	大辻
●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	横山
攻めの遅さと体が早く上がって黒星が先行してしまつた。春場所は立ち合い鋭く速く、頭を上げずに攻めきる力強い相撲と連敗しない気持ちの強さを磨いて臨みたい。立ち合いは仕上がってきているので、その有利を活かして最後まで逆転を食わない攻め方をみつけてほしい。春場所はもと自分自信を持って自分らしい相撲を取りたい。	勝ち越すことは出来たが、未だ未だ荒い相撲が目立つ。来場所はもっと冷静に、正確に相撲をとってほしい。諸手を突きださず、色んな事にチャレンジしたい。	成績は六勝とよかつたが、何回か引いてしまった相撲が反省点。このまま相撲も番付も前へ前へと突き進みたい。三連勝負け越ししたが最後の一番はいい相撲が取れた。攻めの意識を持って相手の中に入るとな相撲を取りたい。攻め春場所では低い立ち合いから前に出る相撲を取りたい。まずは幕下で初勝ち越しをして、今年には幕下定着する。納得できる相撲が取れたが次は結果に繋げたい。変化に対応できるような足の運びを強化して前に出る相撲で勝負。	先場所は、自分の右四つ指の相撲が五勝することができた。地元場所でも勝ち越し以上を狙ってほしい。	先場所は、自分の右四つ指の相撲が五勝することができた。地元場所でも勝ち越し以上を狙ってほしい。	先場所は、自分の右四つ指の相撲が五勝することができた。地元場所でも勝ち越し以上を狙ってほしい。	先場所は、自分の右四つ指の相撲が五勝することができた。地元場所でも勝ち越し以上を狙ってほしい。	小学生的の時、高田川部屋に行つたことがきっかけで入門しました。強い力士になれるよう稽古頑張ります。

高田川 親方の 喝

初場所は部屋全体が非常に悪かつた。竜電は力がついたかもしれぬが、自分の相撲を見失つて何一つ自分の相撲が取れていなかった。輝に至っては論外だ。相撲を怖がって取つていない。もつと自分を信じ、自信を持って本場所でも戦うべきだ。白鷹山はコンスタントに勝つには勝つたが、まだまだ十兩でしか勝てない相撲。幕内でも勝てる相撲を身につけなければいけない。若い衆も本場所でも勝ちきれないレベルの低さ。引いたり叩いたりするまやかしの勝ちではなく、正々堂々真向勝負で勝て。そのためには部屋の者全員がもつと稽古に精進して、本場所でも無意識でも自分本来の相撲が出るように稽古に励み、体に染みつかせていかなくてはならない。自分の相撲を見つめ直し、一から鍛え直せ。

高田川部屋 激励会 平成31年3月3日(日) 午後6時 開宴

高田川部屋 千秋楽祝賀会 平成31年3月24日(日) 午後6時半 開宴

※会場は両日とも大阪商業大学エスタス(会費制) 各お問い合わせ・お申込み / 行司 式守伊之助 電話 090-3215-6524

※表記の番付は正式発表前の予想